

会議結果のお知らせ

附属機関等の名称	栃木県農政審議会	
会議の公開について	公開	
令和7（2025）年8月6日		
<p>（概要）</p> <p>1 日時 令和7（2025）年6月25日（水） 13時30分～15時40分</p> <p>2 場所 栃木県公館大会議室</p> <p>3 出席者 委員18名</p> <p>4 議題及び議事</p> <p>（1）諮問事項</p> <p style="padding-left: 20px;">次期農業振興計画の策定について</p> <p style="padding-left: 20px;">○県からの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とちぎ農業未来創生プランの成果と課題、今後の対応の方向性について ・次期農業振興計画骨子（案）について <p style="padding-left: 20px;">○委員からの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手を確保するためには、第三者継承も含めた経営継承や農地の確保を支援するとともに、就農時の初期投資の負担軽減等を図るほか、トレーニングファームなど研修体制の整備等が必要 ・将来像のフレーズ「農業やるなら栃木県」は良い。いきいきと活躍する県内の若手農業者の姿を発信して広めていくことが必要であり、「稼げる」という視点が重要 ・担い手を育成するためには、普及指導員等による伴走支援が重要 ・スマート農業を推進していくためには、ほ場の大区画化等のほか、技術を普及するための講習会の開催や支援体制の充実が必要 ・農業においても、環境負荷低減の取組を進めていくことが必要 ・有機農業について、学校給食への導入や新規就農等を支援する仕組みづくりが必要 ・いちご等の新品種や、生産性向上のための新技術の開発等が必要 ・生産環境を含めた栃木県の強みのPR等により、ブランド力の強化につなげていくことが必要 ・農産物の更なる輸出拡大に向けて、取組の強化が必要 ・農産物の再生産可能な価格に対する消費者の理解醸成が必要 ・将来を担う子供たちに、農業体験や授業などを通して農業の魅力や重要性を伝えていくことが必要 ・農業をとりまく環境が厳しさを増す中、関係者が危機意識を共有し、スピード感を持って取組を進めることが必要 <p>（2）今後の開催予定</p> <p style="padding-left: 20px;">次回は10月20日（月）に開催予定</p>		
問い合わせ先	栃木県農政部農政課農政戦略推進室 （栃木県農政審議会事務局）	電話 028-623-2284 F A X 028-623-2340